



平成28年7月7日

各 位

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 代表者 代表取締役社長 倉田 陽一郎
 (コード番号 2437)
 問合せ先責任者 経理部長 益戸 佳治
 (TEL 03-5537-8024)

平成28年5月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年12月21日に公表いたしました平成28年5月期(平成27年6月1日～平成28年5月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,297	263	247	160	27.95
今回修正予想(B)	3,898	356	332	164	28.69
増減額(B-A)	600	93	84	3	
増減率(%)	18.2	35.4	34.3	2.5	
(ご参考)前期実績 (平成27年5月期)	2,948	77	52	16	2.89

修正の理由

エネルギー関連事業の主力である低圧型太陽光発電施設販売事業では、前期から見込んでおりました生産性向上設備投資促進税制が浸透し、即時償却を目的とした需要により、販売数は優遇税制措置を受けられる期限の本年3月末まで順調に推移いたしました。4月以降は、同税制により受けられる優遇税制措置は50%の特別償却となるため、需要の伸び悩みを予想しておりましたが、4月以降も依然として強い需要があり、販売数の積み増しにより、当連結会計年度の販売数は、当初予定を大きく上回る101基となり、これにより売上高、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、当社子会社の取引先であった日本ロジテック協同組合の経営破綻により、当社子会社が同組合に対して有する債権のうち、当連結会計年度末時点で回収が見込めないと判断した48,614千円を、貸倒損失として特別損失に計上いたしましたので、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記のとおりとなる見込みであります。

オークション関連事業では、売上高は前回予想を若干下回る見込みとなりましたが、利益率の高い作品の取り扱いにより、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を上回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上